



子ども大学よこはま  
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

## 2015年度 第3回授業の報告

日時 2015年9月26日(土) 14:00~16:00/場所 神奈川近代文学館ホール

9月26日、「子ども大学よこはま」の第3回目の授業が、神奈川近代文学館ホールで行われました。参加した“学生”は、全部で39名でした。運動会があったり、熱を出してお休みした学生が多かったようです。

### プログラム

<第3回授業>

「自分も相手もたいせつにするかかわりに必要なこと」  
～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～

講師：副島賢和（そえじま まさかず）先生

（昭和大学病院院内学級さいかち学級教諭、昭和大学大学院 <sup>じょう</sup>准教授）



#### ☆副島賢和先生の紹介

小学校の先生として長く小学校で教え、今は昭和大学病院の院内学級（いんないがっきゅう）で、病気で入院している子どもたちの先生をしています。また週に1回ほど、大学で心理学（しんりがく）も教えています。

かんじょう  
感情

どうじしゃいしき  
当事者意識

してん  
視点を変える



# 授業後のアンケートから

## “学生”のアンケート回答から

### 1. 今日の授業でいちばん、心に残ったことや言葉は？

- ・ 感情の意味、どんな感情を持ってもいいこと、大切にしていること（18人）
- ・ 感情、時間、仲間、空間を大切にする（3人）
- ・ 自分は一人じゃない（3人）
- ・ 病気の子も達のつらさや、入院しても勉強をして頑張っていること（3人）
- ・ 病気の人が思っていることを考えるのは難しいので、気持ちを考えてやる（2人）

<そのほかの回答> 院内学級の生徒たちの詩／幸せ／人のいのちはすべて／いかりや悲しみに意味があるということ／命は価値で決めることではない／いやなことも視点を変えてしてみる／入院するのは自分のせいではない／退院したのに死んでしまった子の話／入院を3年している人がかわいそうだと思う

### 2. 授業を受けて「もっと知りたい、聞いてみたい」「自分で調べてみたい」と思ったことは？

(多かったもの)

- ・ 院内学校の広さ、院内学級の子には宿題がでるのか、どんなことをやるのか、全国にどれくらいあるのかなど、院内学級について（11）
- ・ 院内学級の子もたちについて（4）
- ・ ホスピタルクラウンとして得意なこと、ホスピタルクラウンについて（4）



### 3. 授業を通して思ったこと、感じたことは？

(多かったもの)

- ・ 院内学級の子は淋しい時がすごく多く、複雑な感情を持っていてかわいそうだと思う（7人）
- ・ 感情は思いがそれぞれあることや自分も感情を持っていて、その感情はいいということ（4人）
- ・ 先生の伝えたいという気持ちがよく伝わり、とても分かりやすかった（2人）
- ・ 病気を持っているのに、明るく楽しくいられることが凄いいと思った（2人）

先生が授業中にすすめてくれた絵本

『わすれられないおくりもの』

(スーザン・バーレイ、評論社)

『はっぴいさん』(荒井 良二、偕成社)

『怒ろう』(パット パルマー、径書房)

『泣こう』(パット パルマー、径書房)

↓大人の人に

『コブタの気持ちもわかってよ』

(小泉 吉宏、ベネッセコーポレーション)



『あかはなそえじ先生のひとりじゃないよ ぼくが院内学級の教師として学んだこと』(副島賢和著、学研教育みらい発行、学研マーケティング発売)

## 保護者のアンケート回答から

### 1. 今日の授業は、お子様に伝わったと思いますか？

- ◇ 大いに伝わった・・・18人（54.5%）
- ◇ だいたい伝わった・・・14人（42.4%）
- ◇ 無回答者・・・1人（3.0%）

約97%の保護者が大いに伝わった、だいたい伝わったと回答してくれました。

### 2. 自分で印象に残ったことや新しい発見がありましたか？

- ◇ ある・・・31人（93.9%）
- ◇ ない・・・1人（3.0%）
- ◇ 無回答・・・1人（3.0%）

印象に残ったことや新しい発見があったとほぼ全員の保護者が回答してくれました。

#### <コメント>

- ・ どんな感情も大切に持っていていい、感情に良い悪いはない、負の感情の処理の仕方等感情についての細かな話（8人）
- ・ 入院している時の感情（6人）
- ・ 当たり前だと思っていることが幸せなこと（4人）
- ・ 健康であることが当たり前ではない（3人）
- ・ 人生はみんな「1」（3人）
- ・ 院内学級の様子（2人）

#### <その他の回答>

道徳／創造性をはぐくむ／相手の気持ちを考えて行動するために必要なことは想像すること／思いやりをもつということ／日々の振り返りに役立つ／平和の詩の空欄に自分の言葉を埋めていく作業の時に気づきがあった／子どもに対する気配りの方向／言葉だけではなく、そっと見守り続けることも大事／視点を変えると見方、考え方が変わる

### 3. 子ども大学の授業を受けて、お子様の考え方や興味の持ち方が変わりましたか？

- ◇ かなり変わった・・・1名（3%）
- ◇ 少し変わった・・・10名（30.3%）
- ◇ どちらとも言えない・・・17名（51.5%）（うち3人は今回が初めての授業）
- ◇ あまり変わらない・・・2名（6.0%）
- ◇ 無回答者・・・3名（9.0%）

11名（33.3%）の保護者がかなり変わった、もしくは少し変わったと回答下さいました。

#### <どのような点で変わったか、具体的な内容>

- ・ 自分で調べてみようとするようになった
- ・ 興味、関心の幅が広がった
- ・ ノンフィクションの本などを読むようになった
- ・ 動物に興味があるようです。
- ・ その日に受けた講義に興味を持つこと
- ・ 第2回の授業を受けてから、いろいろなものの裏書を気に留めるようになった他の生徒の発言などを聞いて、刺激されている
- ・ 医療関係の仕事に興味を持った
- ・ 積極的になった
- ・ 関心がなかったことについても考えたり、生活の中で「この前、この話していたよね」と話すようになった

## となりのお友達の名前は？ ——授業の後は自己紹介

ほとんどが「はじめまして」の“同級生”。

となりはどんな子かな？

今回は授業の後に、近くに座った学生同士で自己紹介をしました。

スタッフが声を掛けたら、大きな声の人、知らない人ばかりのところへ勇気を出して自己紹介した人、得意な科目を教えてくれた人、スタッフにたくさん話しかけた人、といろいろな人がいました。



1月の第5回で行く野毛山動物園の鈴木園長さんが  
授業参観にいらっしゃいました。

神奈川近代文学館では「まるごと 佐野洋子展」  
が開催されていました。

次回は、11月7日(土) 14~16時 横浜市技能会館にて  
「宇宙人ってほんとうにいるの？」(平林久先生)

**お楽しみに！**



子ども大学よこはま  
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

特定非営利活動法人子ども大学よこはま 〒226-0027 横浜市緑区長津田 1-22-2-38  
電話 090-3903-6875 EMAIL [inform@kodomodaigaku-yokohama.com](mailto:inform@kodomodaigaku-yokohama.com)  
<http://www.kodomodaigaku-yokohama.com/>  
<https://www.facebook.com/kodomodaigakuyokohama>